

石狩市の魅力

ここからは各地区の広報担当職員がざくばらんわが地区の魅力を紹介します。

石狩地区

風景

はまなすの丘は石狩の貴重な財産。海と川が出合っつくりあげた、自然のままの景観に感動！

「ずばり、イチオシの風景はどこですか？」



はまなすの丘公園

広報 **はまなすの丘公園**です。ここは180種類もの植物が自生していて、まさに海浜植物の花園！石狩川の河口までのびる遊歩道を通じて自然散策が楽しめるんですよ。

さらにここには、映画「喜びも悲しみも幾年月」の舞台になった**石狩灯台**もあります。この灯台は明治25年に北海道庁が設置したもので、当時は全面が白っぽい色に塗られていましたが、映画のロケがあったころはちょうどカラー映画の開始めだったため、カラー効果を高めようと関係者の要望もあつて、紅白に塗り替えられたそうです。

「なるほど。では、ほかにおすすめの風景はありますか？」

広報 開拓先人がのこしてくれた百年の歴史を誇る**防風林**、番屋の湯から眺める感動的な**夕日**、石狩河口橋から望む**石狩川**の雄大な流れなど、ドラマチックな景色がたくさんあります。あと、平成17年に石狩放水路沿いにお目見えした**風車かりんぶうとかぜ**のちゃんを背にした景色がとても幻想的で、ここは個人的におすすめです。

文化

産業から暮らしまで、サケ漁と深く重なるまちのすがた。名所旧跡で往時のロマンに出合えます。

「サケ漁ではぐくまれた歴史や文化は石狩・厚田・浜益に共通していますが、石狩地区ならではのサケ物語といえませんか？」

広報 かの有名なクラーク博士も試作に参加したといわれる**サケの缶詰**ですね。明治10年10月10日に、日本初の本格的な西洋式缶詰工場「開拓使石狩缶詰所」が石狩本町地区で操業を始めています。ちょうど今の観光センターの裏あたりに工場があったそうです。現在、日本缶詰協会では、この日を「缶詰の日」と指定しているんですよ。

復刻版の缶詰もあります。お土産にぜひどうぞ。

「実際に缶詰づくりができると聞きましたか？」

広報 **いしかり砂丘の風資料館**



で缶詰づくりが体験できますが（大150円・小100円）、ここではサケを缶詰にするのではなく、たとえば石狩浜で拾った貝殻など、自分だけの思い出の品を缶詰にすることができ。なお、同館では**サケの考古学展**が10月31日まで開催されており、縄文時代から続くサケ漁の歴史を、**石狩紅葉山49号遺跡**を中心に分かりやすく展示していますので、この機会にぜひ足を運んでみてください。

「サケ漁に関連して、石狩川のおすすめは？」

広報 **チヨウザメ**が網を破ってサケ漁に支障をきたすので、漁業安泰を祈り、神事を行ったところ、前にもましてサケが豊漁となり、それから

はチヨウザメを神として信仰するようになったという伝説「**鮫様伝**」が今に残っています。元禄期に創建された石狩弁天社には、鮫神と亀神の2神からなる妙亀法鮫大明神がまつられています。

「サケ以外の文化で華やかだったものはありますか？」

広報 江戸末期に地元の名士が集う**俳句結社**「石狩尚古社」が生まれ、さかんに俳句が作られていました。**弁天歴史通り**周辺には、句碑も建立されています。私設の資料館「**石狩尚古社**」では、その当時の貴重な資料を見ることが出来ます。

特産品

まちの名がそのまま料理になった**石狩鍋**。とれたての農産物に、地酒、地ビールと、石狩は郷土色豊かな味覚が満載です。

「秋はグルメの季節ですが、石狩地区の名物料理は何ですか？」

広報 やはり、サケを素材にした料理が多いんですが、代表格は何といっても**石狩鍋**でしょう！



石狩鍋

「ご当地名物、石狩鍋の名前で親しまれるようになったのは昭和20年代後半で、当時は週末になると、石狩川河口の地引き網漁を見学しようと大勢の観光客が訪れたそうです。」

「サケの地引き網漁は、今でも年に一度、見学できるのでは？」

広報 そうなんです。石狩川が**北海道遺産**に登録されたため、「北海道遺産石狩川歴史・文化伝承事業」として現在に伝えています。**石狩さけまつり**と同時に開催なので、毎年大変な賑わいになるんですよ。

「漁業をはじめ、農業も頑張っていますよ。」

伝え隊！ 私のまちのヒストリー



いしかり砂丘の風の会

石狩に世界最古クラスといわれるサケ・マスの漁撈遺跡があることを知っていますか？平成7年から8年間にわたり発掘調査された「石狩紅葉山49号遺跡」から、石斧や土器、竪穴式住居跡などいっしょにサケを捕獲するための「エリ」が発見されました。エリに使われた「柵」(写真)は高さ1~2.5m、幅は0.9~1.5mほどで、破損したものも含めて出土した数は33枚！私は発掘作業員として参加し

ていましたが、4千年前の暮らしの跡を実際に目の当たりにした時の興奮は今もさめません。その後、当時のメンバーと「いしかり砂丘の風の会」を結成し、現在は8人で、いしかり砂丘の風資料館を拠点に活動しています。資料館には、「柵」のほかにも貴重な出土品も展示されていますので、ぜひ間近でご覧ください。毎週土・月曜には、私たちメンバーが発掘当時の様子も交えながら、まちの歴史をご案内します！(加藤和子さん談)

「これからの旬野菜と、おすすめは？」

広報 はい！とれたての地元農産物をぜひ味わってみてください。道道石狩手稲線沿いには**いしかり地物市場**、花川南には**花川中央商店会の朝市**、本町では**市観光センター**に、**番屋の生鮮広場**が新たにオープンしました。

「の逸品は？」

広報 **ナガイモ**ですね。旬は11月ぐらいでしょうか。豊かな風味が人気です。また、石狩産米「ほしのゆめ加夢加夢」を使った**ピルスナー**をはじめ、3種類の個性が楽しめる**番屋の地ビール**や、石狩産きさらし397を使用した**吟醸酒いしかり**もあります。晩酌にいかがですか。